

アユス仏教国際協力ネットワーク

アユスは今年7月、安保法案など戦争への道を開く動きに反対するため、NGOの有志とともに「NGO非戦ネット」を立ち上げました。名古屋NGOセンターの西井理事長は呼びかけ人の一人ですし、東海でも多くの方々が賛同して下さっています。なぜ、この動きを見過ごせないか。それは、日本のNGOが非暴力の精神と共に海外の現場において築いてきた信頼関係や、積み重ねてきた成果が崩れ去ってしまうことになるからです。また、正義の名の下に爆弾を落とされ、武器を向けられてきた人々の苦しみを知るNGOには、彼らの側に立ち、戦争への道を開く動きに反対する責任があります。

ですから、当初はほとんどのNGOが「NGO非戦ネット」に賛同してくれると考えていました。しかし実際には、な

かなか賛同の輪が広がらなかったのです。理由のひとつとして、政府や企業から助成金や寄付を受けているNGOが賛同を躊躇したということが考えられます。また、理事の反対にあった団体、政治から距離を置く団体、多忙で対応できない団体もありました。

そんな中、予想していなかったところから、多くの賛同が寄せら

れました。それは国内で活動しているNGOやその関係者、それにこれまでNGOと縁のなかった市民の方々です。味方は意外なところにいました。国内支援・国際協力の垣根がぐんと低くなったことは、今回の活動の大きな財産です。今後も思いを同じくする人たちとつながり、多様な賛同者の力を借りながら、したたかに非戦を追求していくつもりです。



8月30日に国会前で行われた抗議行動(志葉玲さん撮影)

(教育・交流事業課長 三村紀美子)